

海外論文情報

From **PEDIATRICS**

(Official Journal of the American Academy of Pediatrics)

December 2019, VOLUME 144/issue 6

主題より

- 乳幼児の麻疹抗体：カナダのオンタリオ州の調査では生後3カ月齢までに麻疹に罹患しやすく、ワクチン初期投与のタイミングが重要
- 9価ヒトパピローマウイルスワクチンの安全性：4価ヒトパピローマウイルスワクチンの市販後の安全性と同等
- 9価ヒトパピローマウイルスワクチンの安全性：2年間にわたる安全性監視では重大な有害事象は認められない
- 幼稚園児における宗教を理由とするワクチンの接種免除：2011～2018年の調査では免除率が増加、全米5州では免除廃止、さらなる検討を要する
- 米国における小児精神科医の育成と分布：2007～2016年の調査では増加傾向だが、州によっては不足
- 発達のマイルストーンのための新しい規範の確立
- 出生前および乳児期の訪問看護（NV）による18年の転帰：無作為化試験では心理的支援の必要な母親のNV支援で18歳まで正常に成育
- 母親に対する出生前および乳児期の訪問看護の効果：無作為化試験による18年間の追跡調査では子育ての心理的不安の軽減効果などが認められた
- 2002～2016年までの米国の大学生および非大学生におけるタバコおよびマリファナの使用調査
- 胎児性アルコールスペクトル障害の初期の予測因子
- CYP2C19表現型とプロトンポンプ阻害薬（PPI）関連感染症のリスク：PPI療法は、CYP2C19活性が高い小児よりもCYP2C19が正常な小児の方が感染症のリスクが高い
- 2011～2016年までのシンシナティ小児病院の小児集中治療（PICU）への入院は近隣の貧困層が多く健康改善策が必要
- パキスタンの脱水小児に対するオンダンセトロン経口投与：無作為化比較試験
- 補完栄養摂取のタイミングと小児期の肥満：小児期を通じて、栄養補給と補食のタイミングが肥満に影響

- 小児における *Kingella kingae* 菌による骨関節感染：核酸増幅検査により菌検出率が向上し、骨関節感染率は増加傾向
- 非定型神経性食欲不振症の青年における体重減少と病気の重症度
- 肥満手術後の筋骨格痛、身体機能、および QOL
- 川崎病における全身性動脈瘤（SAA）の調査：2016～2019年の調査では SAA の回復は早く、発症率の変化はない
- 救急科で治療を受けた子どもの非粉末銃器（BB ペレット、ペイント弾、エアガン銃）による損傷
- 米国における小児の細気管支炎による入院の傾向：2000～2016年の調査では入院率は低下するも人工呼吸器使用と病院の直接費用は大幅に増加

レビュー・その他

- 重度肥満の小児患者に対する代謝および減量目的の肥満手術
- 幼小児へのアルミニウムの影響：米国では母乳よりも乳幼児用調製粉乳中のアルミニウム含量が多く長期的な健康リスク評価を要する
- 中心静脈カテーテルによる血栓性閉塞に対する血栓溶解薬：臨床研究のメタ解析によるとアルテプラゼ治療が効果的
- 救急部門における軽度の頭部外傷の子どもの状況
- 虐待や育児放棄による発達遅延の子どもの支援：子どもの権利が尊重、保護され、実現を保証されるための最適な養育の概説
- 小児敗血症サーベイランスの国家的アプローチ
- 新生児のシーケンス研究における倫理的問題：BabySeq の事例研究
- 新生児への抗菌薬使用適正化のための多施設共同品質改善イニシアチブ（QI）：QI により CDC の抗菌薬管理を順守し、抗菌薬の大幅な削減を達成
- 多職種連携による集学的アプローチにより喘息入院患者の退院時の薬剤使用量を改善

症例報告

- 出生後獲得したダニ媒介感染症の新生児の 2 例
- 水痘ワクチン（Oka）株により髄膜炎症状を呈した 2 症例
- 特発性尿管狭窄による慢性血尿の 10 歳男児例

詳細は下記の web site を参照

<https://pediatrics.aappublications.org/content/144/6?current-issue=y>

同様の情報をホームページでも提供しています。

<http://shoni-iji.com/>

学会案内

第30回日本外来小児科学会年次集会 「春季カンファレンス」のお知らせ

日 時：2020年4月5日（日）10：00～15：30

会 場：京都テルサ（京都府京都市南区東九条下殿田町70番地/新町通九条下ル）

会 頭：幸道直樹（ことうどう小児科/宇治市）

テーマ：春季拡大ワークショップ in Kyoto ～今、そこにある課題～

- 10：00～12：00 拡大ワークショップ
- 1) 抗菌薬（減らすだけでいいのかな？）
 - 2) 離乳食（今の離乳食って正しいの？）
 - 3) 食物アレルギー（プライマリ・ケアでできる！）
 - 4) 在宅医療（多職種からのケースレポート）
 - 5) 子育てに関わる（かくれた育児困難を探る）

13：00～14：00 拡大ワークショップのまとめ

14：00～14：30 講演1 熱傷の湿潤療法 ～小児科医だからこそこまでできる～
八木和郎（小児科八木医院/堺市）

14：30～15：30 講演2 外来小児科医だからできること ～「主役は子ども」がキーワード～
武内 一（小児科医/佛教大学社会福祉学部教授）
※専門医共通講習（医療倫理）を取得できます。

参加費：医師 3,000円 医師以外 2,000円

対 象：医師だけでなく看護師，保育士，栄養士，その他のメディカルスタッフ

定 員：なし

申込み：事前登録は第30回年次集会ホームページ（<http://sagpj30.umin.jp/index.html>）

事前登録された方には当日のお弁当を用意いたします。

事前登録期間 2019年11月15日（金）正午～2020年2月29日（土）

備 考：事前登録をしなくても当日参加も可能です。ただし、お弁当がありません。

問い合わせ先：株式会社コンベンションリンクージ

〒604-8162 京都府京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町634

TEL：075-231-6357

Email：30th_sagpj@c-linkage.co.jp